

4. 緑の将来像

市民・事業者と行政が共通の認識を持って緑のまちづくりを進めていくことができるよう、将来の本市の緑のあるべき姿を「緑の将来像」とします。

【骨格】

緑の骨格である樹林地が保全されています。

- 成田市の緑の骨格である樹林地が守られています。
- 里山の樹林地では、市民が協力して下草刈りなどの手入れが行われています。また、適正に管理された樹林地は二酸化炭素の吸収・固定により、地球温暖化対策に重要な役割を果たしています。
- 市内に残る里山や谷津田の緑は、身近な緑としてNPOや市民活動の一環として保全活動により郷土の景観を維持するとともに、生物多様性の確保などに大きな役割を果たしています。

【連携】

丘陵地の樹林から利根川へと緑と水で結ばれています。

- 市街地に流れる根木名川、大須賀川、十日川、取香川などの河川を中心に谷津田や斜面林の緑が一体となっており、寺社林や屋敷林、公共施設・民有地の緑がつながっています。
- 水辺と緑が結ばれ、野鳥や昆虫など多様な生物が生息しています。

【拠点】

緑によって、まちに個性と風格があたえられています。

- 成田駅周辺や成田湯川駅周辺の街路には街路樹の緑が連続しており、まちの景観を形づくるとともに市民や来訪者に潤いを与えています。
- 市街地の建物や住宅では花と緑で彩られ、成田市らしい個性あるまち並みとなっています。
- 成田市を代表する観光地である成田山新勝寺には多くの人が集まり、その周辺の緑もきれいに保存されています。

【身近】

生活に安らぎと潤いをもたらす身近な緑があふれています。

- 子どもからお年寄りまで市民一人一人が気軽に楽しめる公園が歩いて行ける場所にあり、様々なスポーツ・レクリエーションを楽しんでいます。公園はバリアフリー化され、誰もが緑とふれあえる空間となっています。
- 里山が整備され、谷津田では農業が営まれており、ボランティアの人々と地域の人々が共に管理をしながら自然・里山・農業とのふれあいを楽しんでいます。
- 家庭の庭や商店街などで、花と緑があふれています。

【安全・安心】

生活を支える安全・安心な緑が整備されています。

- 公園緑地や運動場などのオープンスペースが避難場所として市内各所に適正に配置され、避難路となる街路には延焼防止に役立つ街路樹が植栽されています。
- 身近な公園の緑は見通しが良く、明るく安全に整備され、子どもが安心して遊べる空間となっています。
- 斜面地には樹林が維持されており、土砂災害から市民を守っています。

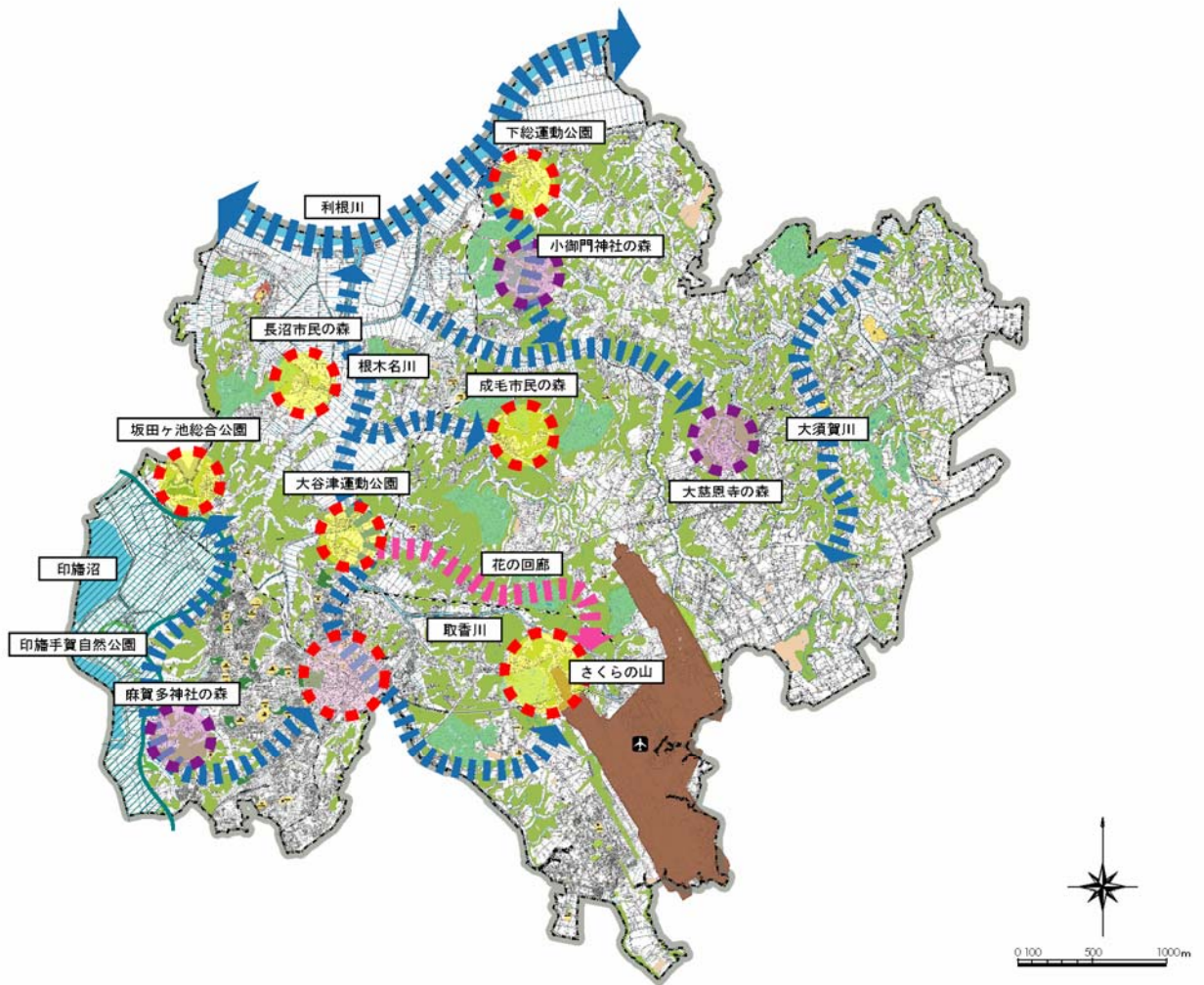
【協働】

市民、事業者、市が率先して緑のまちづくりを行っています。





- 緑は地域の人々や事業者などが自ら植樹し、管理しているとともに地域に残る里山の樹林地を大切に守り、育てています。市民などによる地域活動を行政が支援しています。
- 地域における緑に関する活動をきっかけとして、コミュニティ活動が活発化しています。



図 緑の将来像図



緑の将来像図は、前項の「緑の将来像」で示した今後の成田市の緑のあるべき姿を示したものです。

緑の将来像図の構成要素			凡 例
緑の骨格	郷土の緑	樹林地、里山、谷津田の緑	
緑の連携	水と緑のみち	利根川や市内の中小河川を結ぶみち 印旛沼周辺の緑	
まちの緑	緑の拠点		
	都市の核となる緑	中台運動公園、赤坂地区公園などの都市公園	
	市街地周辺の緑	坂田ヶ池総合公園、大谷津運動公園などの都市公園や市民の森など	
	郷土の緑	麻賀多神社や大慈恩寺、小御門神社の森などの樹林地	